



かがやく瞳

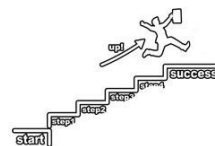
令和4年度

2022. 10. 13

No. 25

今日から後期が始まりました ～令和5年3月のなりたい自分を目指して～

今日から後期が始まりました。後期は、ひと月ごとに新しい学年が見えてくる時期です。今は遠くにある新しい学年。大人には経験があるので見えますが、子どもたちの目にはまだおぼろげです。子どもは未来に向かって生きていますが、その未来は、今、今のことに一生懸命向かった充実した日々で拓かれます。「できた!」「わかった!」を日々一つ一つ積み重ねながら、3月の姿を見据えつつ進んでいきたいと思います。後期始業式では、次のようなことを話しました。



<小さな成長の足し算をがんばろう>

夏休みの前にお話ししたことをもう一度お話しします。「 $0+0$ は?」。そうですね。0ですね。「 $0+0+0+0+0+0$ は?」。0ですね。「めんどくさい」「どうせむり」「失敗するのがいや」と考えてやらないことは、数字にすると0ですね。0はいくら足してもゼロです。では、「 $1+1$ は?」そうですね。2です。「 $1+1+1+1+1$ は?」5ですね。よく聞いていました。一つずつでも小さな何かを積み重ねて Keep していくと、成長というかたまりになります。

今日から後期です。小さな何かを一つ一つ丁寧に積み重ねていきましょう。そうすると3月には、新しい自分になっています。今までできなかったことができる自分、分からなかったことが分かる自分になります。そうなったら、どんなに嬉しいことでしょう。後期も一つ一つ成長の足し算をがんばりましょう。

<「頑張りの壺」と宿題>

さて、成長の足し算をするために一つのお話とみなさんに宿題を出します。まず、成長の足し算はどれくらいすればいいのかお話しします。人には頑張りの壺があります。一つ頑張ると壺に頑張りが一つ入ります。頑張りを続けていくと壺が頑張りで一杯になります。一杯になってもうひとがんばりして、壺からあふれた時、何かができるようになるのです。成長の足し算は頑張りの壺が一杯になってあふれるまで、続けないといけないのです。頑張りの壺は、人によって、できるようになりたいことによって大きさが違います。

次に、成長の足し算を続けて、頑張りの壺を一杯にするために校長先生から宿題を出します。簡単な宿題です。それは「ムリ」「めんどくさい」と言わずに「やってみよう。」「どうしたらできるかな。」と言ってみましょう。「ムリ」「めんどくさい」は成長をストップさせる呪いの言葉です。

学校には成長のチャンスがたくさんあります。朝の会、朝の歌、あいさつ、花火宣言、暗誦、掃除、遊び、係の仕事、そして授業。これらのチャンスを「ムリ」「めんどくさい」と言って、逃してはいけません。3月、新しい自分が見られるように、「ムリ」「めんどくさい」を言わず、「やってみよう。」と、成長の足し算で頑張りの壺を満杯にしていきましょう。そして、嬉しくなりましょう。楽しくなりましょう。

後期も子どもたちが安心・安全の中で、瞳かがやくよう努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いたします。季節の変わり目となっております。保護者の皆様、ご自愛ください。

後期に向かって ～後期始業式の発表～

< 2年 ○○○○さん >

私が後期がんばりたいことは3つあります。一つ目は、算数と国語の全校テストで100点をとることです。とくに算数がんばりたいです。100点をとるために、チャレンジノートで練習して、指を使わないで計算できるようになりたいです。かん字は、よく見ていねいに書きたいです。二つ目は、あいさつです。大きな声で言える時もあるけれど、朝、元気がない時もあるからです。いつでも元気にあいさつしてあいさつ名人になりたいです。三つめは、花火せんげんです。私のもくひょうは、「あやとび10回」です。まだ一つもたっせいしていないので、東小タイムに上手な人におしえてもらってれんしゅうしたいです。前期は楽しいことがたくさんありました。後期も楽しいことをいっぱいにできるようにがんばりたいです。



< 4年 ○○○○さん >

私が前期がんばったことは、マラソン大会の練習です。大会の日にはきんちょうして、走るのがこわかったけれど、たくさんの人たちに応援されてとてもうれしかったです。練習の時に歩かないようにがんばって走りました。そのがんばりを続けることができてよかったです。

後期がんばりたいことは、全校テストで合格することです。前期は、あまり合格できなかったのので、後期は前期よりたくさん合格したいです。そのために、「はっぴいノート」にたくさん勉強をがんばりたいです。マラソン大会の時のようにがんばりを続けていきたいです。



< 6年 ○○○○さん >

ぼくが前期がんばったことは、「思いやり、支え合い、あこがれの的になる」という学級目標に近づけたことです。下級生に掃除のしかたを教えてあげたり、ドル走でよさを伝え合ったり学習発表会でお客さんを楽しませることができるよう演技して「こんな上級生になりたい」と思ってもらえたりしました。

今日から後期がスタートしました。卒業までの91日間がんばりたいことは、「3つの瞳」を身に付けることです。特に「たくましい瞳」の「あせらずに一歩一歩」を目指していきます。ぼくは、家庭学習で漢字練習などをくり返しやらずにかんたんにすませてしまうことがあります。それだと、勉強したことがしっかり身に付かないと気付きました。後期は、じっくり、ゆっくり、ていねいに学習に取り組みたいと思います。

みんなで、しっかり勉強を身に付けて後期もがんばっていきましょう。



ちょっと 「雑談」していますか？

「雑談していますか？」いきなりの質問でしたが、「雑談はとても大事なものですよ。」「雑談しましょう。」というお話をさせていただきます。

雑談はたわいもないことを話題にした中身も結論もないお話です。しかし、雑談には人と人をつなぐ大きな意味があります。

私たちが初対面の人と会って話す時、いきなり雑談はしません。雑談は、それなりの関係性が築かれ安心感があってできるものだからです。何度か会って関係性が築かれると、雑談も出るようになってきます。会って会話をして雑談できるようになると、お互いの人となりがわかり合えるようになって、距離が縮んでいきます。

雑談の内容をいちいち覚えてはいません。しかし、同じ場において直接声を交わす雑談は「言葉のやり取りをしながらの心の交流。」という意味をもっています。

「よーし、雑談するぞ。」というものではありませんが、自然と雑談ができるといいですね。子育てをしていると、つい「～しなさい。」「早く～。」「～した？」と命令や指示・注意が多くなってしまいます。子どもさんと雑談しましょう。お互い、心がフワッと軽くなるでしょう。

